

業績・財務ハイライト

当期の業績について

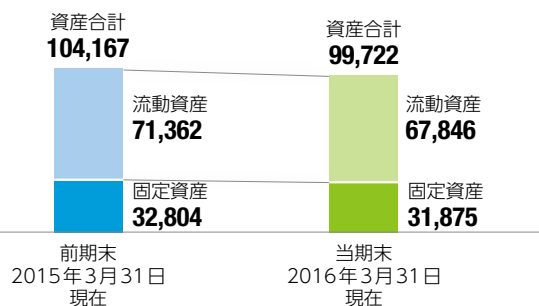
当期は主力の工作機械事業が全体をけん引し、前期比増収増益。
新機種の生産効率の向上や調達コストの低減等が寄与し、
前期に引き続き利益率が改善。

売上高
651億46百万円
(前期比 3.3% up ▲)

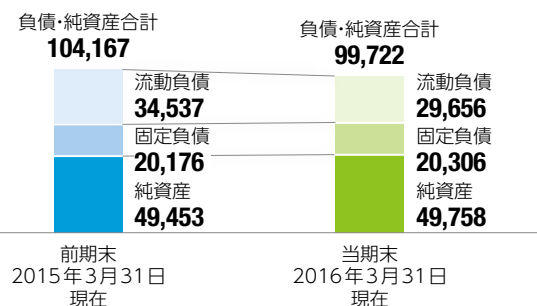
営業利益
63億53百万円
(前期比 29.9% up ▲)

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

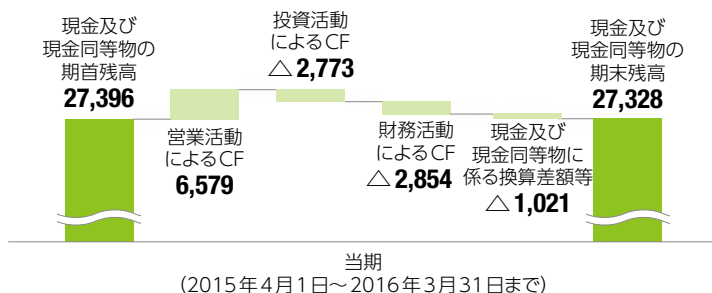
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



POINT B/S: 仕掛品等流動資産の減少により、総資産が前期末に比べて44億44百万円減少。流動比率は200%以上を維持し安定した水準を確保しています。ネット有利子負債は、前期末に比べ18億26百万円減少し、61億63百万円まで減少し、財務体質は着実に改善しています。

POINT C/S: 営業CFは工作機械事業の増益、食品機械事業の収益改善等により65億79百万円のプラス、投資CFは固定資産取得等により27億73百万円のマイナス、財務CFは長期借入金返済等により28億54百万円のマイナスとなり、その結果、現金及び現金同等物の期末残高は前期末より68百万円減少し、273億28百万円となりました。

IRサイトでさらに詳しく

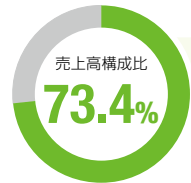
IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索



セグメント別の概況 (単位:百万円)

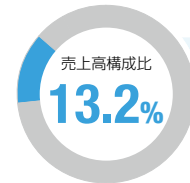
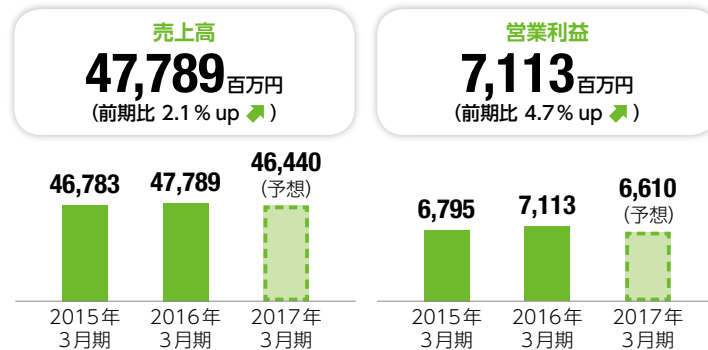


工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

中国はじめ、アジアでの経済減速感あるも、国内・欧米を中心に需要は総じて好調。

国内では、政府の補助金政策等の影響もあり、自動車、スマートフォン関連を中心に需要は総じて堅調に推移しました。北米・欧州では、自動車、航空宇宙、医療機器関連からの需要が底堅く推移しましたが、ロシア等一部の地域において減速感が見られました。中国、アジア地域においては、自動車、スマートフォン関連などでの需要が振るわず低調に推移しましたが、インド等では新たな需要が見られました。

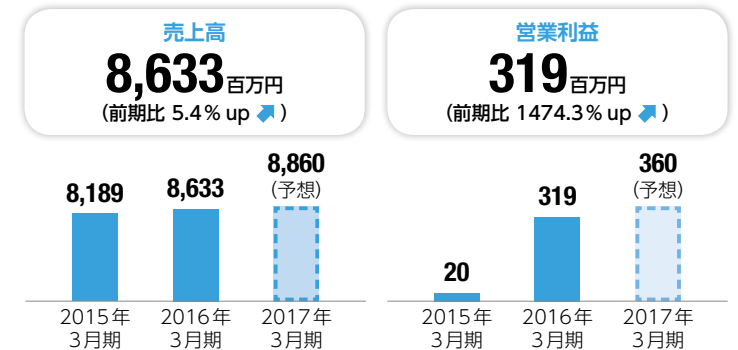


産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

価格競争の影響等見られたが、高付加価値部品向けの需要が堅調。

国内では、期後半にかけて、スマートフォン関連からの需要には一服感が見られましたが、自動車関連の車載部品やヘッドライト部品など高付加価値部品向けの設備需要は堅調でした。海外では、北米地域では底堅い需要がありましたが、中華圏を含むアジア地域において、価格競争や経済減速の影響が見られました。このような状況の中、原価低減活動の取り組みにより、営業利益が大幅に改善いたしました。

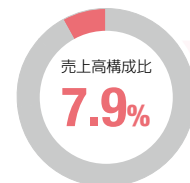
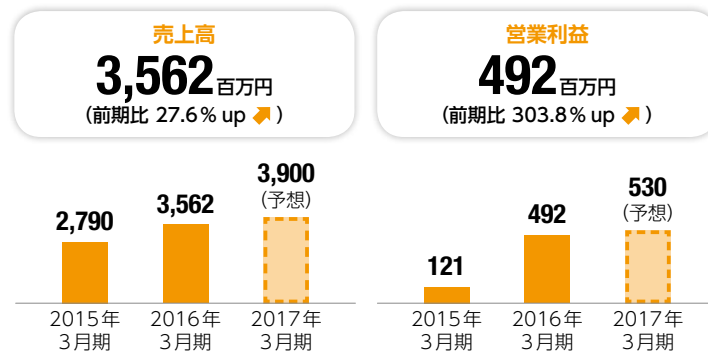


食品機械事業

麺製造プラント、製麺機等の食品機械の開発・製造・販売

調理麺の品質向上のための需要が引き続き増加傾向。

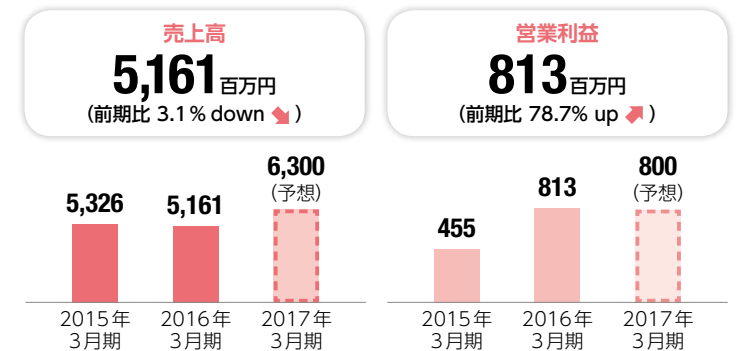
国内では、コンビニエンスストアやスーパーマーケット及び外食チェーン向けなどに、調理麺の品質向上を目的とした設備投資需要が継続して見られました。海外においても、アジアや北米地域を中心に、日本食ブームの影響により食品機械の需要が増加し、着実に売り上げを伸ばしています。この結果、売上高・利益ともに過去最高となりました。



その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミック製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、放電加工機のリース

精密金型精密成形事業で自動車関連向けに好調な需要が見られ、リニアモータの外販も引き続き順調に推移しました。しかし、半導体メーカー向けセラミックの外販の落ち込みにより、売上高は減少となりました。



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索

